

2019年11月15日  
ぶぎん地域経済研究所  
ちばぎん総合研究所

埼玉県・千葉県企業アンケート調査の比較分析（第7回）

「ぶぎん地域経済研究所」および「ちばぎん総合研究所」では、千葉・武蔵野アライアンス（注）の下で、埼玉県・千葉県の企業アンケートに、「決算状況」、「設備投資動向」、「SDS sへの取り組み」について共通の調査項目を設定し、両県の比較分析を行った。

（注）16年3月に両行が締結した包括提携契約。

埼玉県アンケート：ぶぎん地域経済研究所

業種別・規模別回答企業数

（単位：社）

	合計	企業規模	
		100人以上	100人未満
全産業	197	90	107
製造業	111	46	65
紙加工品等	11	4	7
化学・プラスチック・ゴム製品	10	5	5
鉄鋼・非鉄金属	8	4	4
金属製品	8	4	4
その他素材型	11	1	10
一般機械器具	10	4	6
電気・情報通信機械器具	10	1	9
電子部品・デバイス	8	2	6
輸送用機械	10	8	2
精密機械	6	4	2
飲・食料品	7	3	4
印刷・同関連業	7	5	2
その他製造業	5	1	4
非製造業	86	44	42
一般建設	17	5	12
住宅建設	6	4	2
卸 売	16	5	11
小 売	20	13	7
運輸・倉庫	5	4	1
不動産	4	0	4
その他非製造業	18	13	5

（注1）従業員100人以上を「企業規模の大きい企業（大企業）」に、従業員100人未満を「規模の小さい企業（中小企業）」とした。

（注2）その他素材型は、繊維・衣服・その他の繊維、木材・木製品・家具、窯業・土石の3業種。

調 査 要 領

- 対象企業… 埼玉県内に本社または事業所を有する企業
- 方 法… 郵送によるアンケート方式
- 実施期間… 配付：2019年 7月31日  
回収：2019年 8月26日
- 回答状況… 調査対象企業 552社  
内有効回答数 197社  
有効回答率 35.7%

（注）調査票の回収数は197だが、設問ごとで回答数が異なるため、各問での有効回答数（母数：n）は異なる。

## 千葉県アンケート：ちばぎん総合研究所

業種別・本社所在地別・規模別回答企業数

(単位：社)

	合計	本社所在地		企業規模	
		県内	県外	大企業	中小企業
全産業	212	189	23	94	118
製造業	119	105	14	34	85
食料品	21	17	4	8	13
石油・化学	14	11	3	6	8
プラスチック	7	6	1	1	6
窯業・土石	13	12	1	4	9
鉄鋼・非鉄金属	9	9	0	0	9
金属製品	15	11	4	5	10
一般・精密機械	9	9	0	3	6
電気機械	10	10	0	3	7
輸送用機械	10	10	0	3	7
その他製造	11	10	1	1	10
非製造業	93	84	9	60	33
建設	12	11	1	6	6
運輸・倉庫	9	9	0	2	7
卸売	15	12	3	11	4
小売	16	15	1	12	4
ホテル・旅館	9	7	2	6	3
サービス	32	30	2	23	9

調査要領	
1. 対象企業…	千葉県内に本社または事業所を有する企業
2. 方法…	郵送によるアンケート方式
3. 実施期間…	配付：2019年 8月31日 回収：2019年 10月11日
4. 回答状況…	調査対象企業 575社 内有効回答数 212社 有効回答率 36.9%

(注) 調査票の回収数は212だが、設問ごとで回答数が異なるため、各問での有効回答数(母数:n)は異なる。

注) 大企業、中小企業の区分は下記による。

大企業…資本金1億円以上。ただし、卸売業は5,000万円以上、小売業、ホテル・旅館業、サービス業は3,000万円以上とする。

中小企業…資本金1億円未満。ただし、卸売業は5,000万円未満、小売業、ホテル・旅館業、サービス業は3,000万円未満とする。

### \* (参考) 埼玉県と千葉県の産業構造の比較

	単位	年次	全国	埼玉県	順位	千葉県	順位
事業所数	力所	2016	5,340,783	240,542	5	188,740	9
住宅着工	戸	2018	942,370	58,517	5	46,807	6
商店数	千店	2016	1,355	57	6	47	9
商品販売額	百億円	2015	58,163	1,835	7	1,351	9
製造品出荷額等	百億円	2017	31,917	1,351	6	1,213	8
延べ宿泊者	万人	2018	53,800	491	33	2,559	5

事業所数(2016年)

(単位:力所、%)

	埼玉県		千葉県	
		構成比		構成比
<b>全産業(公務を除く)</b>	240,542	-	188,740	-
農林漁業	576	0.2	1,001	0.5
鉱業, 採石業, 砂利採取業	33	0.0	60	0.0
建設業	25,762	10.7	19,912	10.5
製造業	26,691	11.1	11,082	5.9
電気・ガス・熱供給・水道業	132	0.1	131	0.1
情報通信業	1,684	0.7	1,457	0.8
運輸業, 郵便業	6,909	2.9	5,504	2.9
卸売業, 小売業	56,851	23.6	47,017	24.9
金融業, 保険業	3,049	1.3	2,821	1.5
不動産業, 物品賃貸業	16,584	6.9	12,233	6.5
学術研究, 専門・技術サービス業	8,573	3.6	6,831	3.6
宿泊業, 飲食サービス業	27,883	11.6	25,104	13.3
生活関連サービス業, 娯楽業	22,637	9.4	19,310	10.2
教育, 学習支援業	9,056	3.8	6,903	3.7
医療, 福祉	20,058	8.3	16,820	8.9
複合サービス事業	937	0.4	981	0.5
サービス業(他に分類されないもの)	13,127	5.5	11,573	6.1

(出所: 経済センサス活動調査)

産業分類別 製造品出荷額等(2017年・従業員4名以上)

(単位: 億円、%)

	埼玉県		千葉県	
		構成比		構成比
<b>製造業合計</b>	135,075	-	121,263	-
<b>素材型</b>	41,774	30.9	75,697	62.4
化学	16,883	12.5	23,222	19.1
石油製品・石炭	413	0.3	25,367	20.9
鉄鋼	3,382	2.5	16,823	13.9
プラスチック	6,850	5.1	2,979	2.5
窯業・土石、繊維	3,535	2.6	3,192	2.6
非鉄金属	5,974	4.4	2,817	2.3
パルプ・紙・紙加工品	4,737	3.5	1,298	1.1
<b>加工型</b>	59,117	43.8	22,143	18.3
輸送用機械器具	25,209	18.7	1,195	1.0
電気機械器具、情報通信	8,398	6.2	3,373	2.8
業務用機械器具	4,812	3.6	1,093	0.9
生産用機械器具	5,391	4.0	5,617	4.6
電子部品・デバイス・電子回路	3,712	2.7	2,129	1.8
はん用機械器具	4,256	3.2	2,349	1.9
金属製品	7,340	5.4	6,387	5.3
<b>生活関連・その他</b>	34,183	25.3	23,423	19.3
食料品、飲料・たばこ等	20,632	15.3	19,166	15.8
印刷・同関連業	7,348	5.4	1,005	0.8
その他(ゴム・家具等)	6,204	4.6	3,252	2.7

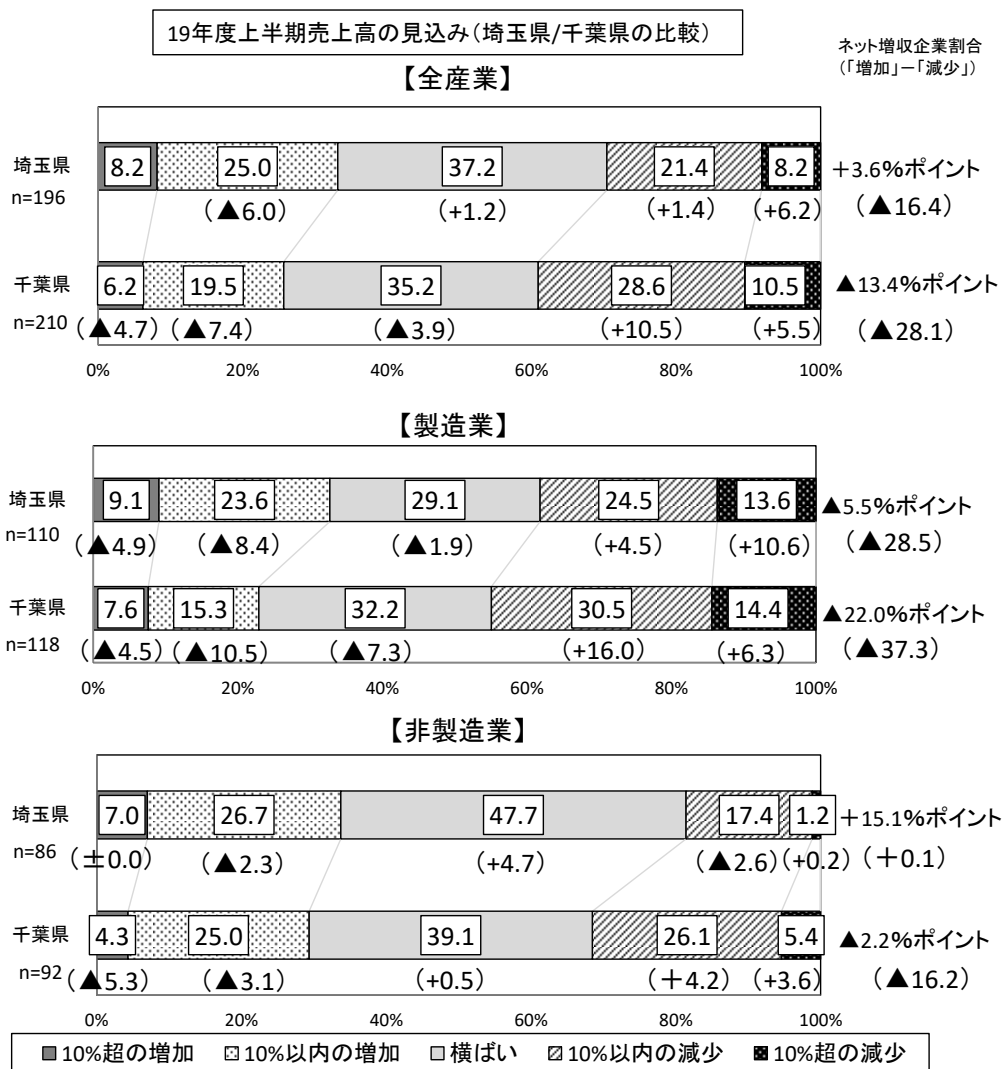
(出所: 工業統計調査)

### 19 年度上半期業績

決算状況は、19 年度上半期業績（対 18 年度上半期比変化）と 19 年度通期見通し（対 18 年度通期比変化）について調査した。

上半期業績のうち売上高をみると、「増収」社数構成比から「減収」社数構成比を引いた「ネット増収企業割合」は、埼玉県でプラス、千葉県でマイナスとなった。埼玉県では製造業がマイナスとなる一方、非製造業が+15.1%ポイントの大幅プラスとなったのに対し、千葉県では製造業・非製造業ともマイナスとなった。1 年前に実施した調査との比較では、埼玉県・千葉県ともに悪化した。製造・非製造業別にみると、製造業は両県ともに悪化した。非製造業は埼玉県はほぼ横ばいとなる一方、千葉県では悪化した。

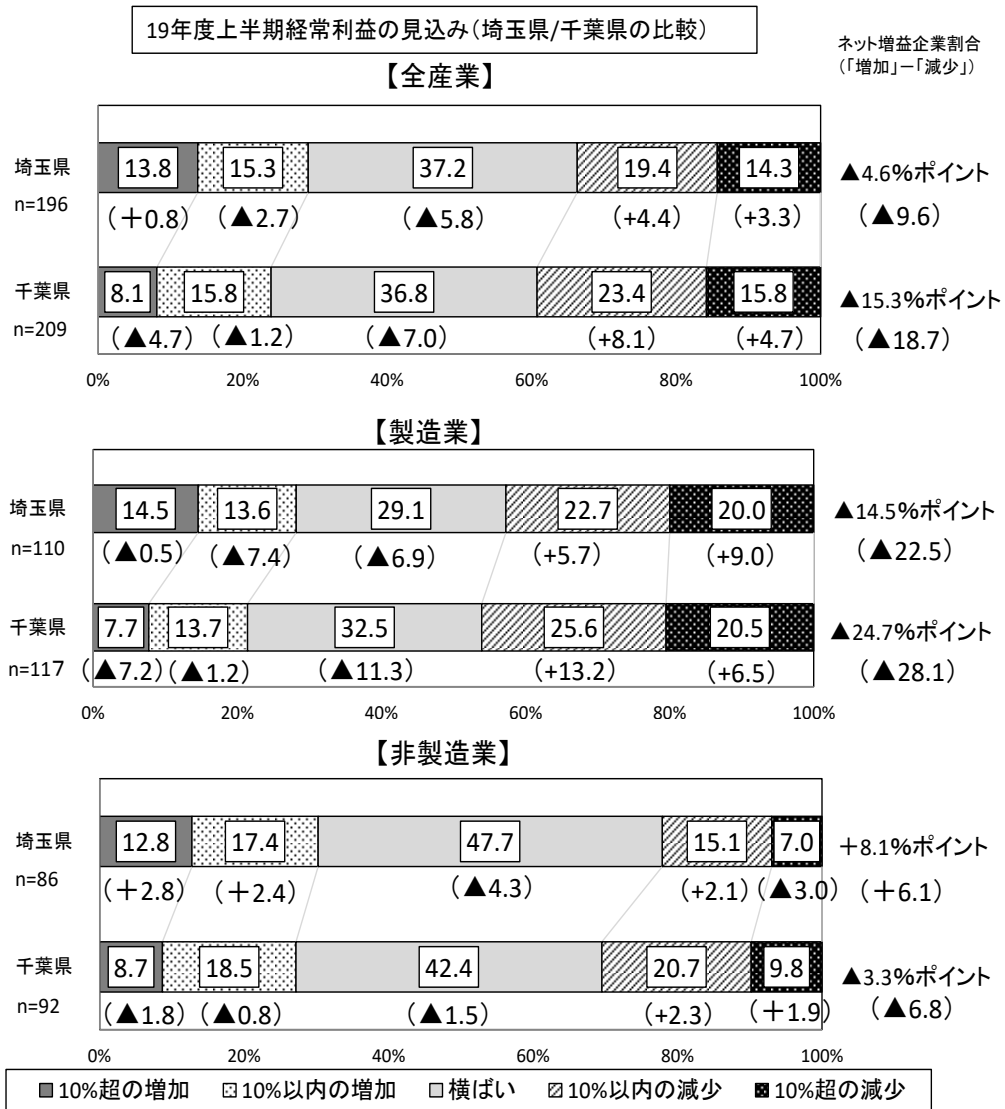
千葉県では、調査票の回収期間が 9 月 1 日から 10 月 11 日と台風 15 号襲来の時期を含んでおり、全体を通じて慎重な見通しとなっている。



( ) 内は各県の前回調査比、単位%ポイント

経常利益をみると「ネット増益企業割合」は両県ともにマイナスとなった。製造・非製造別では、製造業は両県ともにマイナスとなった。非製造業は埼玉県はプラス、千葉県ではマイナスとなった。

前年調査との比較では、埼玉県の非製造業のみ改善している。



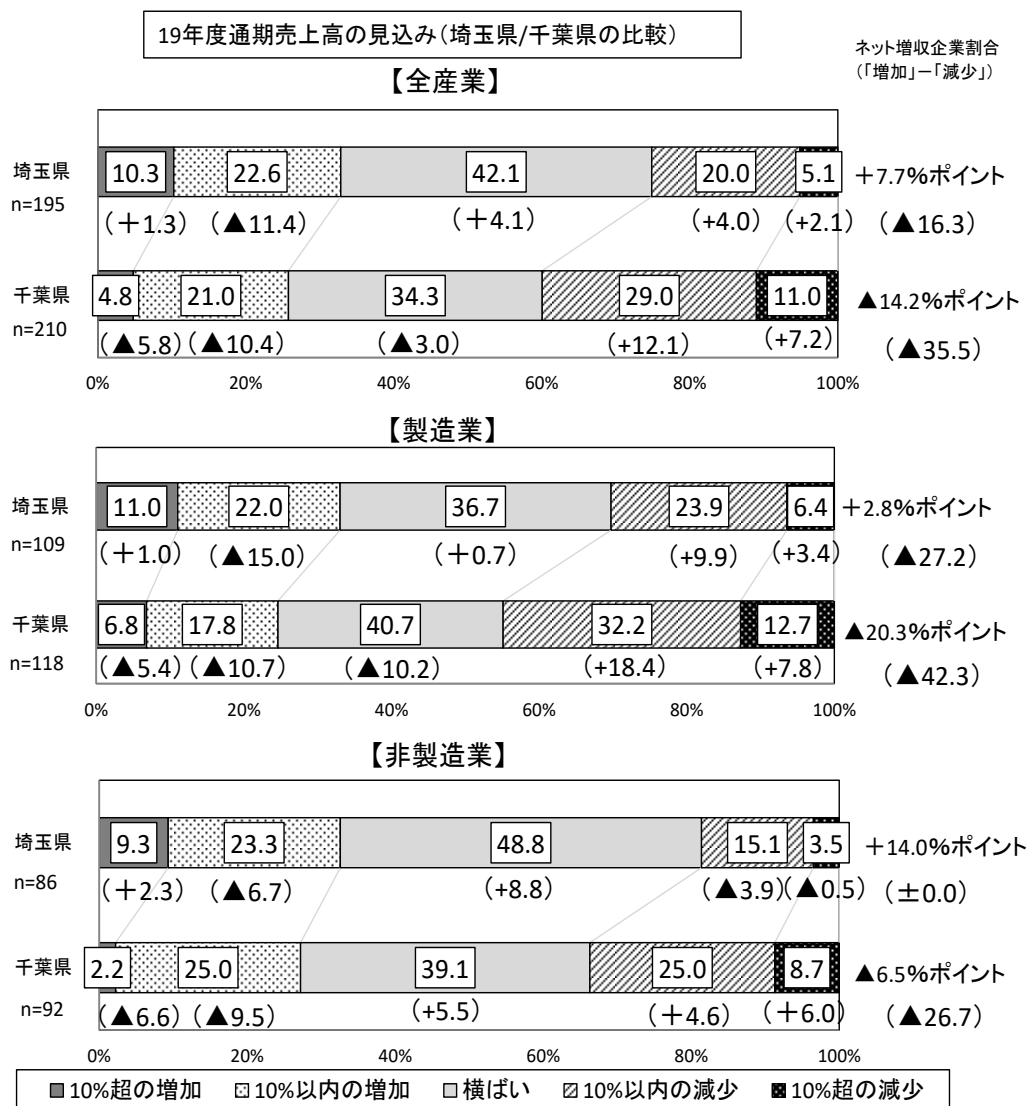
( ) 内は各県の前回調査比、単位%ポイント

		調査期間	回答数	期間中の日経平均 終値平均	期間中の為替相場 (ドル円)の平均
埼玉	今回	19年7月31日～8月26日	197	20,702.44円	106.54円/ドル
	前回	18年7月25日～8月28日	210	22,471.79円	111.05円/ドル
千葉	今回	19年8月31日～10月11日	212	21,582.49円	107.40円/ドル
	前回	18年8月31日～10月11日	239	23,321.68円	112.36円/ドル

### 19 年度通期業績見込み

通期業績（対 18 年度比増減）の比較では、ネット増収企業割合は、埼玉県でプラス、千葉県でマイナスとなった。埼玉県では上半期の見通しから伸びを高めるが、千葉県ではほぼ横ばいとなる見込み（埼玉県：上半期+3.6%ポイント→通期+7.7%ポイント、千葉県：同▲13.4%ポイント→▲14.2%ポイント、）。

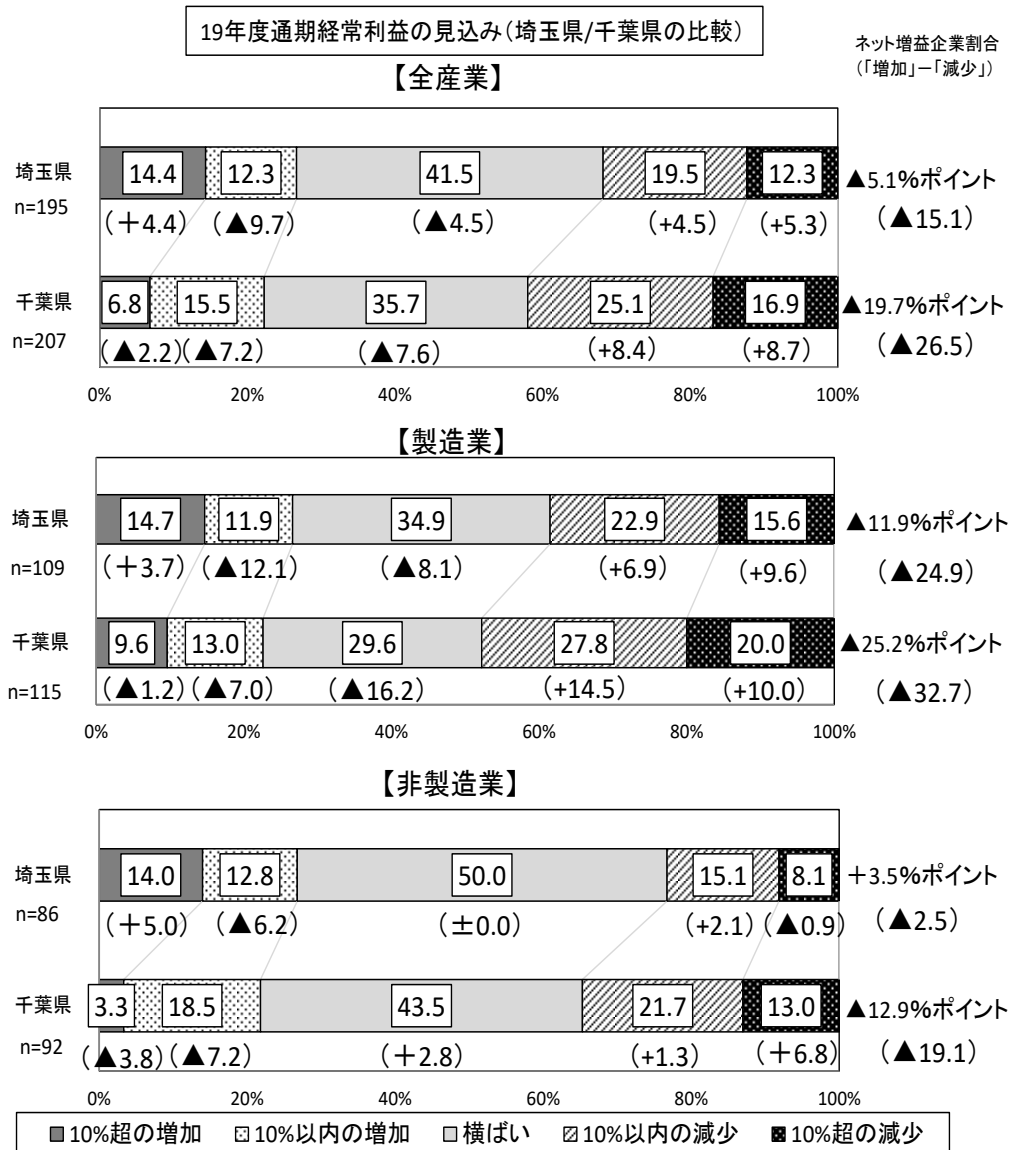
製造・非製造業別にみると、埼玉県はいずれもプラスとなり、千葉県ではともにマイナスとなった。



( ) 内は各県の前回調査比、単位%ポイント

経常利益（ネット増益企業割合）の見込みは両県ともにマイナスとなった。両県とも上半期の見通しから鈍化する（埼玉県：上半期▲4.6%ポイント→通期▲5.1%ポイント、千葉県：同▲15.3%ポイント→▲19.7%ポイント）。埼玉県の非製造業のみプラスを維持し、その他はマイナスとなった。

前年調査との比較では、両県いずれのセグメントも悪化している。



( ) 内は各県の前回調査比、単位%ポイント

### 設備投資の動向

19年度の設備投資見込み額は、埼玉県で前期比35.4%増、千葉県が同+56.1%増とともに前年実績を上回っている。

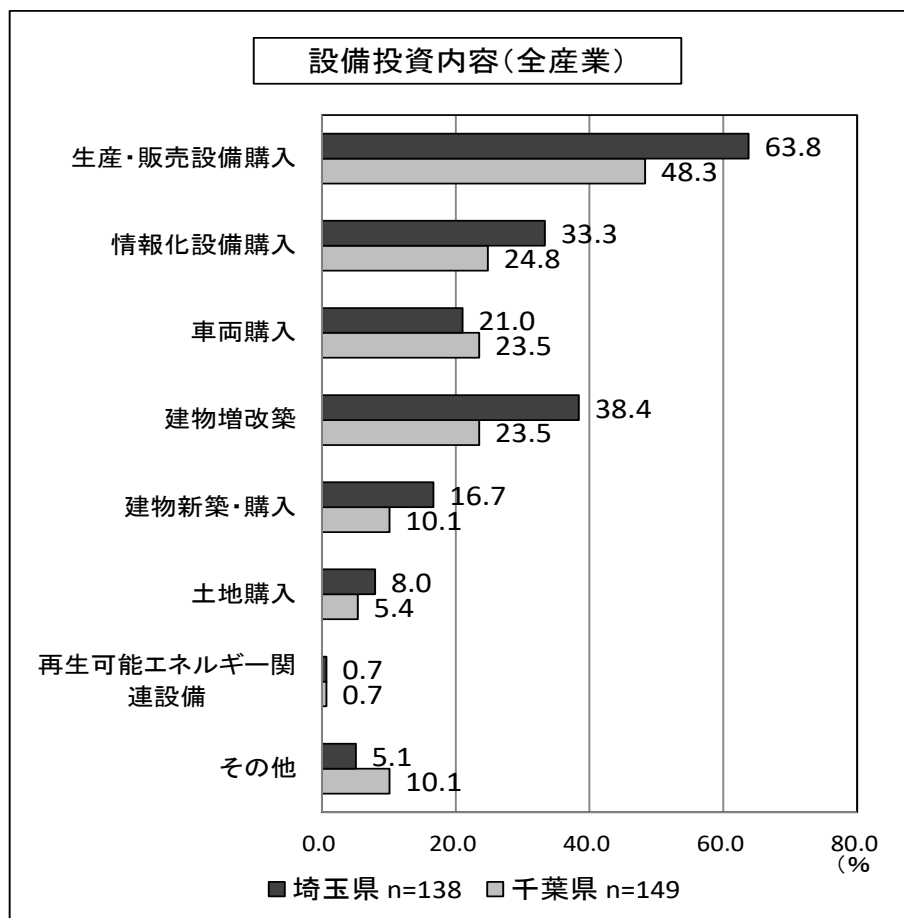
投資内容をみると、両県ともに「生産・販売設備購入（埼玉県：63.8%、千葉県：48.3%）」が最も多かった。埼玉県では「建物増改築（38.4%）」がこれに続き、千葉県では「情報化設備購入（24.8%）」が続いた。

#### 埼玉県

	19年度設備投資見込み額(億円)	対前年度増加率(%)
全産業	878.4	35.4
製造業	336.0	28.3
非製造業	542.4	40.2
大企業	719.7	23.0
中小企業	158.8	148.7

#### 千葉県

	19年度設備投資見込み額(億円)	対前年度増加率(%)
全産業	533.7	56.1
製造業	359.6	98.6
非製造業	174.1	8.2
大企業	481.1	63.6
中小企業	52.6	9.8

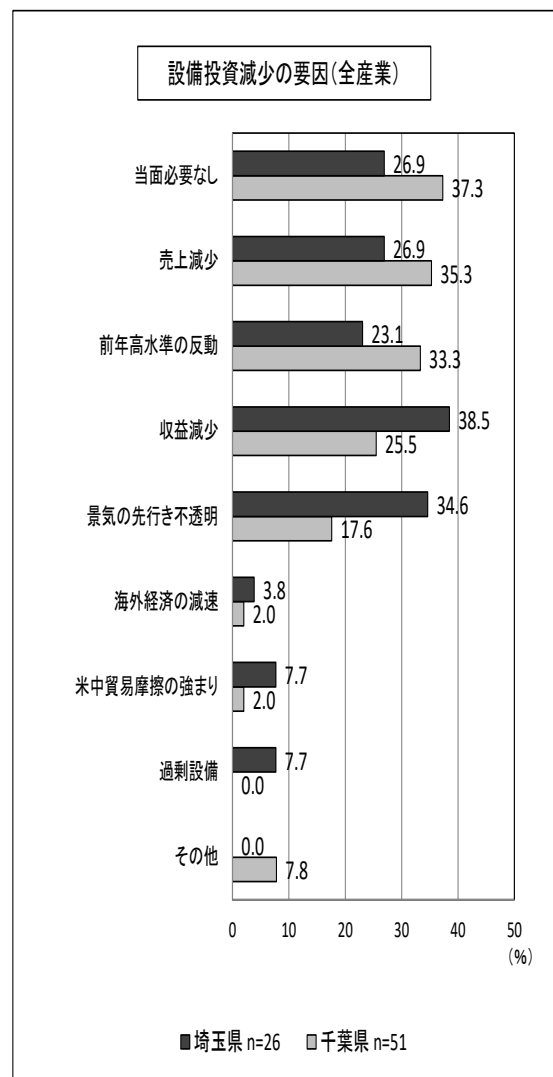
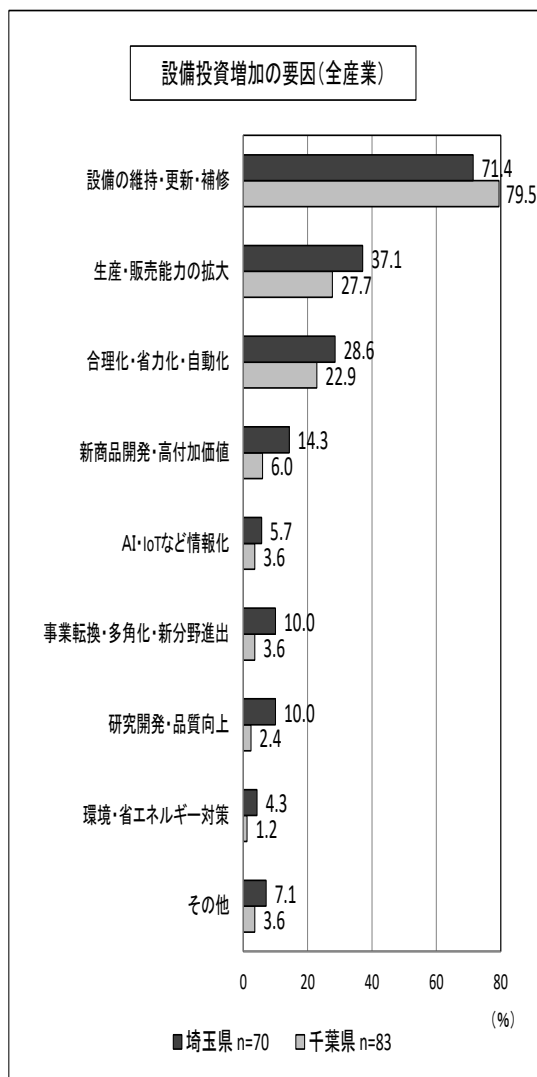




設備投資増加の要因は、両県とも「設備の維持・更新・補修（埼玉県：71.4%、千葉県：79.5%）」が最も多く、「生産・販売能力の拡大（埼玉県：37.1%、千葉県：27.7%）」、「合理化・省力化・自動化（埼玉県：28.6%、千葉県：22.9%）」がこれに続いた。

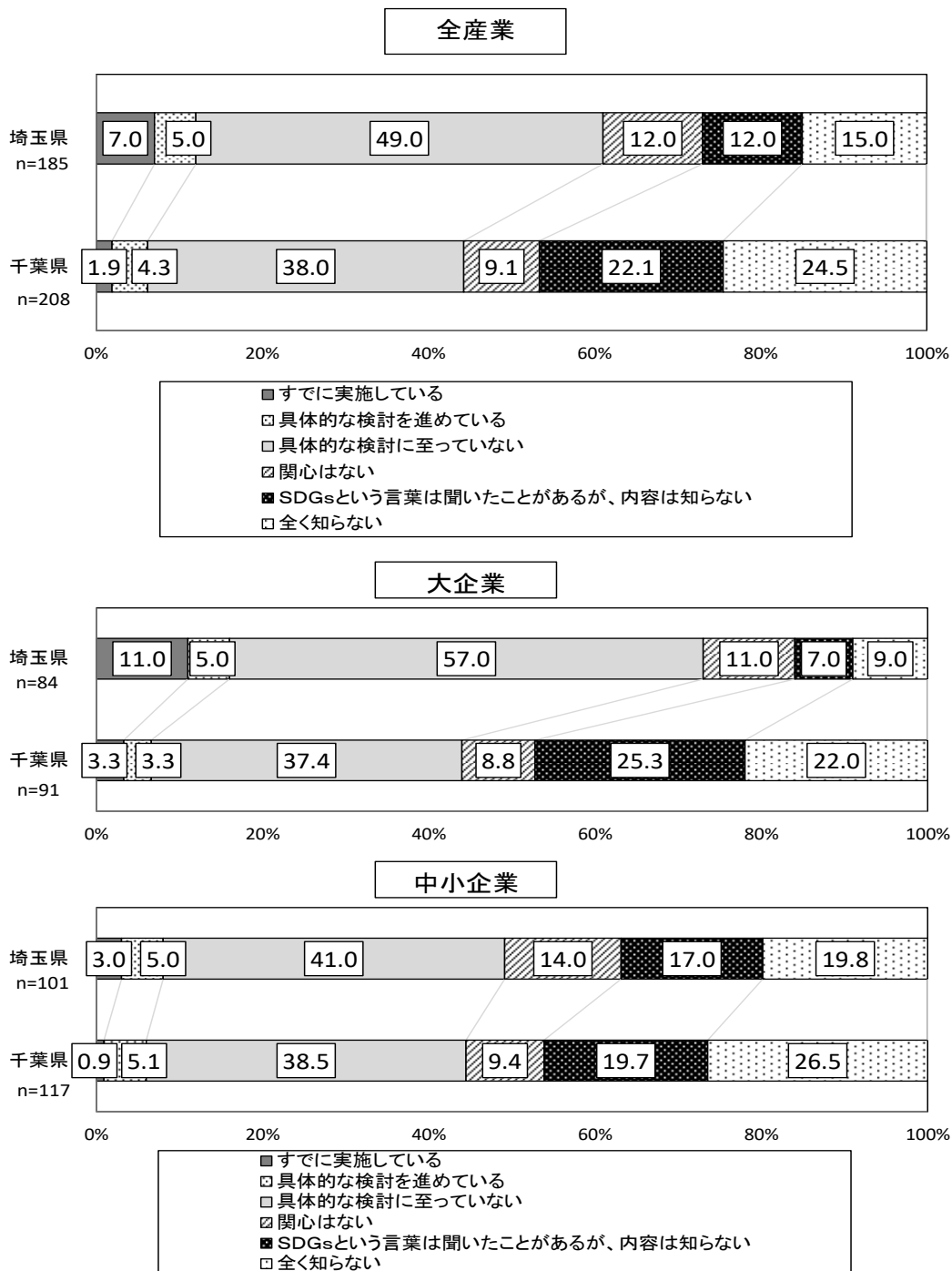
設備投資減少の要因は、埼玉県では「収益減少（38.5%）」が最も多く、「景気の先行き不透明（34.6%）」がこれに続いた。

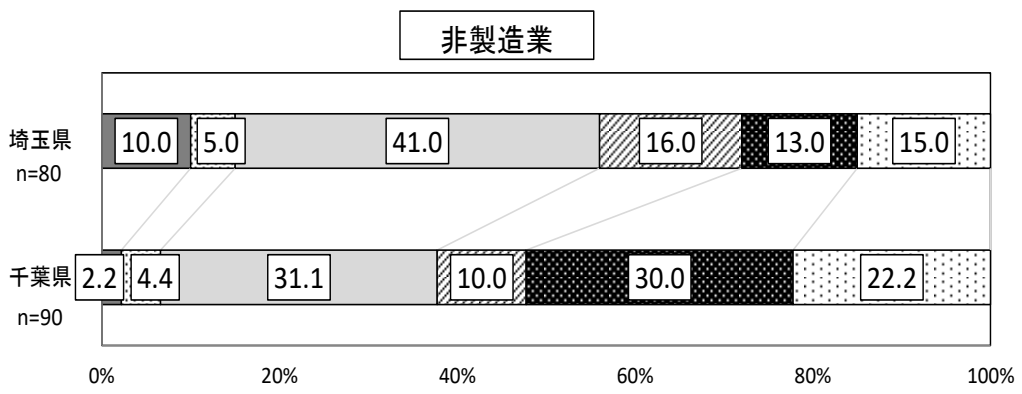
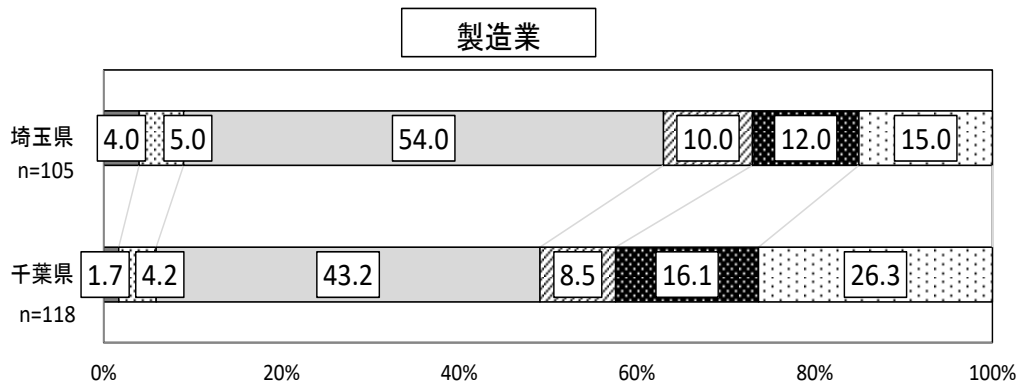
一方、千葉県では「当面必要なし（37.3%）」が最も多く、「売上減少（35.3%）」が続いた。



### SDGsへの取り組み

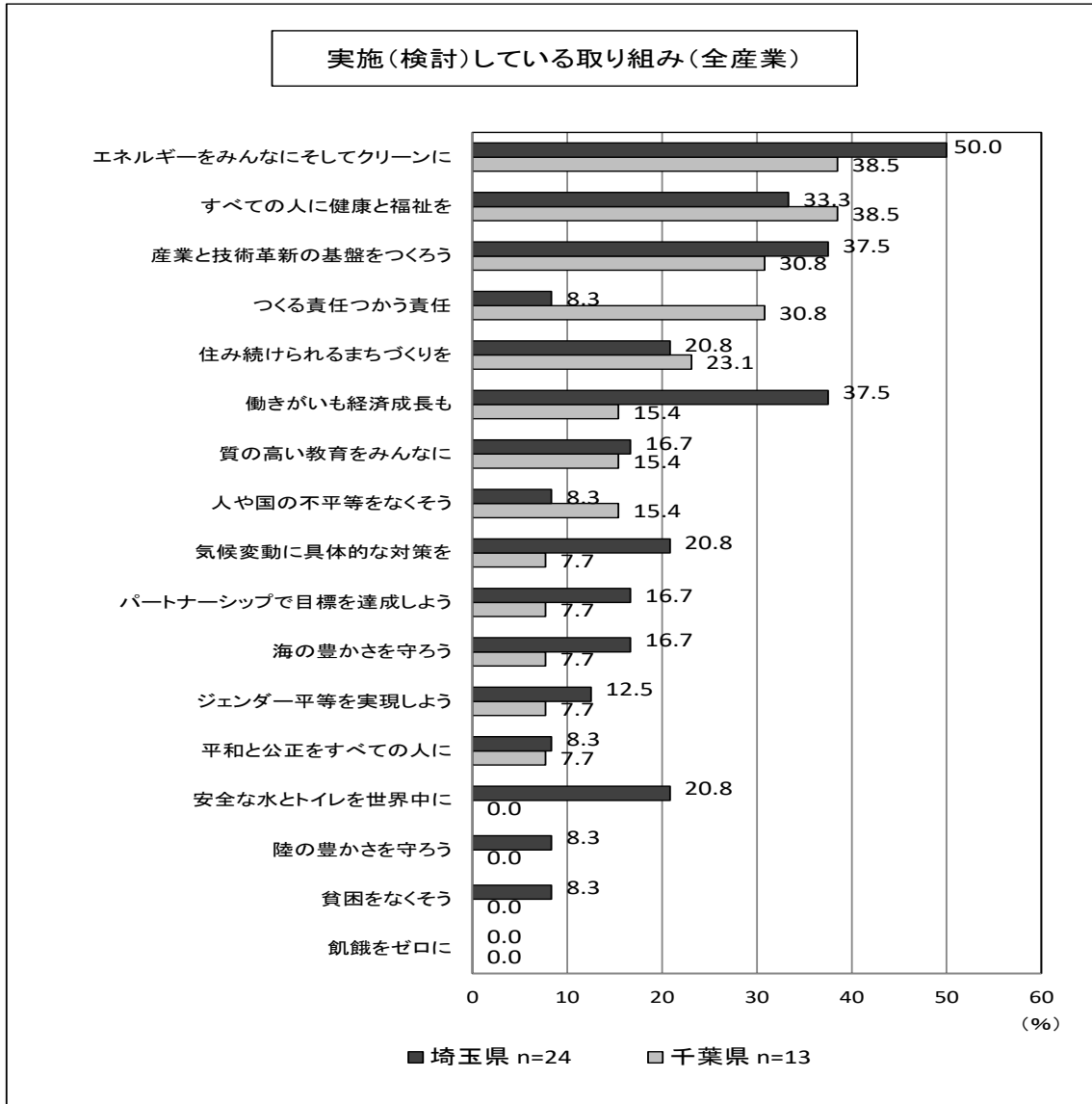
SDGs（持続可能な開発目標）への両県企業の取り組みは、「すでに実施している」又は「具体的な検討を進めている」とする進行中の企業割合が、埼玉県で12.0%（「すでに実施している」7.0%+「具体的な検討を進めている」5.0%）、千葉県で6.2%（同1.9%+同4.3%）と、埼玉県が千葉県を上回った。規模別、製造・非製造別では、いずれのセグメントも埼玉県企業が千葉県企業を上回っている。





- すでに実施している
- ▣ 具体的な検討を進めている
- 具体的な検討に至っていない
- ▤ 関心はない
- SDGsという言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない
- 全く知らない

実施（検討）している取り組みは、両県ともに「エネルギーをみんなにそしてクリーンに（埼玉県：50.0%、千葉県：38.5%）」が最も多く（千葉県では「すべての人に健康と福祉を」[38.5%]と同割合）、埼玉県では「産業と技術革新の基盤をつくろう（37.5%）」「働きがいも経済成長も（37.5%）」が同割合で続き、千葉県では「産業と技術革新の基盤をつくろう（30.8%）」「つくる責任つかう責任（30.8%）」が同割合で続いた。



以上